

能登教区通信

このたび、標記通信2018年12月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆「是栴陀羅」の課題に関する教区学習会◆ 総合教化本部・教区同朋社会推進協議会

- ・ 日 時 2018年12月6日(木) 午後1時30分～5時
- ・ 講 師 解放運動推進本部本部委員
- ・ その他 詳細は、同封の案内チラシをご覧ください。

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・ 日 時 2018年12月15日(土) 午後2時～4時
- ・ 講 師 藤原千佳子 氏(金沢教区 浄秀寺)
- ・ 講 題 光に遇いて愚かを尽くす
- ・ 参加費 500円

◆和讃研修会◆ 研修部門

- ・ 日 時 第1回 2019年1月18日(金) 午後1時半～4時半
第2回 2019年3月8日(金) 午後1時半～4時半
- ・ 講 師 藤場 俊基 氏(金沢教区 常讃寺)
- ・ 内 容 『高僧和讃』に学ぶ
- ・ 持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)、筆記用具等
- ・ 参加費 500円
- ・ 備 考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。

◆てらカレ部-あみだ食堂-の活動休止について◆時代社会部門

1年半にわたり、時代社会部門の教化事業として「てらカレ部-あみだ食堂-」を実施してまいりましたが、活動内容を見直すため、当分の間、活動を休止することとなりました。

なお、活動再開時期については、教区通信等でお知らせします。

教化事業・その他行事のご報告

◇能登教区報恩講◇ 総合教化本部

去る11月12日(月)～13日(火)、済美精舎(能登教務所)において「能登教区報恩講」が厳修されました。事前準備から報恩講厳修、後片付けまで教区内の御寺院、ご門徒の皆様、多くの方のご協力をもって本年も無事勤めることが出来ました。ありがとうございました。

詳細については、来月の能登教区通信でご報告します。

◇羽鹿歡喜光院殿御崇敬◇

10月19日(金)からの3日間、第14組託因寺(七尾市中島町河内)にて歡喜光院殿御崇敬が勤まりました。記録によれば、前回当寺でこの法要が厳修されたのが1870(明治3)年とのこと。実に、148年ぶりに乗如上人様をお迎えさせていただくこととなりました。200年以上も続くこの御仏事に、先達からの“後世にわたって宗門を護持発展させていってほしい”という篤い思いを改めて感じ、身の引き締まる思いがいたしました。

このたびの御崇敬では、河内地区の中屋家で300年以上も絶やさずに守り続けられてきた囲炉裏の火種=火様(ひさま)を、現在管理されている森田家からお借りし、お灯明に使わせていただくという有り難いご縁もありました。

法話のご講師として、西岸正映氏(中島町田岸 常光寺)、祖父江佳乃氏(名古屋市 有隣寺)、川村妙慶氏(京都市 正念寺)をお招きし、連日にわたって多くの方々にお参りいただきましたことを大変嬉しく思っております。

このたびの御崇敬に関わってくださった全ての皆様には感謝しかございません。この尊いご縁を今後も大切に、ご門徒の皆様とともに南無阿弥陀仏のみ教えを大切に日々精進していきたいと思っております。

〈宿寺 第14組託因寺坊守 大鳳澄子 記〉



蠟燭に明かりが灯された場面

本山・教区事務についてのご連絡

◇参拝される皆さまへの誤植について◇

先月号の教区通信に同封いたしました『参拝される皆さまへ』の裏面、2019年 真宗本廟収骨・読経 参拝状況予想表の中で誤植がありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 3月25日の午前 お取扱いなし 午後 お取扱いあり

(正) 3月25日の午前 お取扱いあり 午後 お取扱いなし

◇本山経常費年末完納について◇

能登教区では、「年末金」として12月中に多くの御寺院に経常費御依頼金を御完納いただいておりますこと、誠に感謝申し上げます。今年度の年末完納扱いは2019年1月18日(金)までとなっておりますので、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

なお、ご完納の際、法要座次・衣体許可等の申請をご希望される方は、教務所までお申し付けください。(年末完納での申請の際は、額を10分の8に減額することができます)

◇第3山方組副組長補欠選挙並びに査察委員補欠選挙による当選人の報告◇

さる11月15日、第3山方組副組長並びに査察委員辞任に伴う補欠選挙が行われました。以下の方が当選されました。(敬称略)

副組長 東 玲 (誓傳寺)

査察委員 木越順也 (長龍寺)

◇教区新年互礼会について◇

本年度も教区新年互礼会を2019年1月31日(木)に和倉温泉「のと楽」において開催いたします。寺族、ご門徒など有縁の方々をお誘いの上、是非多くの方にご参加いただきたく思います。詳細は同封のチラシをご覧の上、ご出席される場合は1月23日(水)までに同封のハガキにてお申し込みください。

◇教務所事務休止について◇

下記の日時を事務休止とさせていただきますのでご承知ください。

2018年12月20日(木)午後 年末大掃除のため

◇教務所事務休暇について◇

下記の期間を事務休暇とさせていただきますのでご承知ください。

2018年12月29日(土)～2019年1月6日(日)まで 年末年始事務休暇のため

※1月7日(月)より通常通り事務を始めます。休暇中はご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。緊急の際には下記教務所携帯電話までご連絡ください。

緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611

◇人事異動について◇

10月24日付で、宮堂史宣主計が三条教務所に異動し、後任に久留米教務所より印牧浄主計が着任いたしました。

離任挨拶 三条教務所主計 宮堂 史宣

このたび、10月24日付で三条教務所主計を拝命し、離任することとなりました。能登教区には2013年8月1日に書記として着任し、以来主事・主計と合わせて約5年3か月の間お世話になりました。様々な役職につかせていただいたおかげで多くの教区の方々と関わりを持つことができたことは何よりも有難く、幸せなことであります。教務所としては初任の地でもあり、何かと至らぬ点が多くご迷惑をおかけすることばかりでしたが、教区の皆様のお育てをいただきながら何とか勤めることができました。



能登教区に身を置かせていただき、過疎という現実を受け止めた時、今後の寺院のあり方がどうあるべきなのかということが私自身の課題となり、教区の皆様とともに考えることができたのは貴重な経験となりました。いよいよ過疎問題対策委員会の施策が本格化していく今、離任することは少し心残りですが、三条教区におきましても能登教区で学んだことを指針として宗務に励んでまいる所存です。

本来であれば、お世話になった全ての皆様に拝眉の上お礼申し上げるべきところでございますが、略儀ながら書面をもって離任のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

着任挨拶 能登教務所主計 印牧 浄

このたび、10月24日付をもちまして、能登教務所主計を拝命いたしました印牧浄と申します。「印牧」の二文字で「かねまき」と読みます。出身は福井教区で、前任地は福岡県の久留米教区です。



今般、同じ北陸の能登教区に宗務役員としてご縁をいただきましたこと、大変ありがたく思うと同時に、身が引き締まる思いを感じております。懇切丁寧を心がけ、微力ながら精一杯務めさせていただく所存でございます。何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもって着任のご挨拶を申し上げます。

◇本山経常費完納寺院◇(2018.10.1～10.31迄)

2018年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第2組	榮通寺			穴水組	極生寺	慶得寺
第3 浜方組	専長寺	願龍寺	善法寺	第10組	圓龍寺	
第4組	長教寺			第11組	称念寺	
第6組	願隆寺			第14組	閑窓寺	

◇住職就任◇(教区通信11月号掲載以降)

第3山方組 照明寺 中岡 淳 2018年10月28日

◇敬弔◇(教区通信11月号掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第2組	榮通寺	前坊守	勝見 九悝子	2018年10月22日
第10組	往還寺	前坊守	松下 てる	2018年11月7日
第3山方組	光濟寺	前住職	北方 巧	2018年11月17日

◇おすすめ出版物の紹介◇

◇青木新門の親鸞探訪◇

アカデミー賞受賞映画「おくりびと」原案小説の著者・青木新門氏が親鸞の足跡をたどる探訪記。京都、越後、関東、ふたたび京都へと、足跡をたどる中で著書独自の視点から、親鸞の生涯と思想にふれられます。

本書内の写真は、京都を中心に活躍する写真家・溝縁ひろし氏が撮影され各所を美しくいどります。

親鸞聖人のことをよく知っている方にも、これから知りたいと思っている方にもぜひ手に取っていただき、各所を巡る際の参考ともなる一冊です。

※本書は月刊誌『同朋』で連載した「私の親鸞探訪」を単行本化したものです。

《 青木新門 著 溝縁ひろし 写真

東本願寺出版刊/A5判/116ページ/1,382円》



※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ
能登教区教化スローガン
能登教区ホームページアドレス URL

ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう
一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を
<http://ohigashi-noto.jp/>